

文化協会だより

【発行】
愛川町文化協会 広報委員会
【事務局】
〒243-0392
愛甲郡愛川町角田 251-1
愛川町教育委員会
スポーツ・文化振興課内
電話 046-285-6958

愛川華道協会 作品



平成29年度4月
愛川華道協会展(中津公民館)
原 理多寿



平成29年度5月
神奈川県華道展(やまと芸術文化ホール)
荒井 秀水

平成28年4月に会長に就任してから2年目を迎え、多くの方が気軽に交流できるような団体を目指してまいりました。文化協会では、講演会や文化展・芸能発表会の開催をはじめ、福祉施設への慰問活動や友好都市立科町文化展等への出展など、幅広く活動してきました。また、10月に開催しました「第33回愛川町ふるさとまつり」では、台風の悪天候の中、多くの方々にご来場いただき、関係各位のご協力により無事に開催出来ました事、厚くお礼申し上げます。さて近年、めまぐるしく変化する社会環境の中で、心の「癒し」が求められております。生涯にわたり心身ともに健康で、文化的な生活をおくるためには、文化活動を続けていくことで、心にゆとりや活力をもたらすものと考えております。文化協会が日々の生活の中で、心に「癒し」を与えられるような存在であることを目指し、役員一同「文化教養の向上」に邁進してまいります。



愛川町文化協会会長
成瀬 和治

会長あいさつ

愛川町文化協会役員名簿

(平成28年4月1日～平成30年3月31日)

職名	氏名	所属団体
会長	成瀬 和治	マジック愛川クラブ
副会長	渡辺 勝弘	愛川町書道同好会
"	荻田 允子	愛琴会
会計	大峽 健一	愛川水石奇木会
書記	荒井 喜久枝	愛川華道協会
監事	沼田 穰	神奈川ふだん記
"	神田 政晴	愛川町囲碁連盟
理事	富田 茂子	みなかみ短歌会
"	藤本 弘	愛川町写真クラブ
"	山田 昌弘	愛川水石奇木会
"	井上 幾雄	愛川町吟詠連盟
"	鳥山 英昭	愛川町囲碁連盟
"	原 啓祐	愛川町民謡協会
"	岡本 福寿	愛川さつき会
"	澤樹 若江	愛川華道協会
"	諏訪部 清江	愛川町舞踊協会
"	大塚 三郎	愛川町将棋愛好会
"	小野澤 ノリ子	愛琴会
"	中村 由江	愛川町書道同好会
"	田中 美代子	愛川町歌謡協会
"	今井 ふく江	愛川茶道協会
"	柳川 正	マジック愛川クラブ
"	木藤 孝一	愛川ばら会
"	足立原 美智子	神奈川ふだん記
"	梅澤 静香	愛川町押花協会
"	萩原 智恵子	よさこいダンスチームFunny
顧問	遠藤 理敏	愛川華道協会
"	高橋 篤則	愛川町写真クラブ

文部事業 文化・芸術鑑賞

2年に1回実施している文化・芸能鑑賞研修事業では、今回初めての試みとなる能の鑑賞会を企画し、横浜能楽堂に行ってきました。

この「能」の鑑賞会は、平成27年度に文化協会が創立40周年を迎え記念事業として開催した能の講演会が大変好評だったこともあり、能楽師である加藤眞悟先生の協力により実現したものです。加藤先生には事前学習として、当日の演目である「鶺鴒」や「二人静」の解説をはじめ、能装束の着付けや能面について普段なかなか見ることの出来ない舞台裏風景を見せていただきました。

そして、鑑賞会当日「鶺鴒」・「二人静」が上演され、参加した会員からは、「初めて能楽堂で鑑賞し、さらに興味がわきました」などと帰りのバスの中では、舞台の感想を語り合いながら、能の幽玄に浸り、充実したひと時を過ごせました。



「能」の鑑賞会 横浜能楽堂

会員募集

現在、文化協会に所属している団体では、新規会員を随時募集しております。各団体に少しでも興味がありましたら事務局までどうぞお気軽にご連絡ください。自分の趣味や特技を活かし、充実した時間を新しい仲間と過ごしませんか。

また、当協会に加盟したい文化団体もぜひご相談ください。文化協会ではふるさとまつりでの文化芸能発表会・文化展の開催など常に躍動中です。ともに、愛川町の文化活動を、よりいっそう盛り上げていきましょう。

【申込み・問合せ】愛川町教育委員会スポーツ・文化振興課内
愛川町文化協会事務局
〒243-0392 愛甲郡愛川町角田 251-1
電話 046-285-6958(直通)

平成29年度 愛川町教育委員会表彰者の紹介

平成29年4月29日(土)愛川町教育委員会表彰が行われ、当協会から7名の方が受賞されました。おめでとうございます。今後も愛川町の文化振興における更なる活躍を期待いたします。

受賞者氏名	所属
荻田 允子	愛琴会
藤本 弘	愛川町写真クラブ
神戸 泰子	愛川水石奇木会
天野 マサエ	愛川町吟詠連盟
小島 博美	愛川町歌謡協会
井上 桂	マジック愛川クラブ
小野澤純子	愛川町押花協会

(順不同、敬称略)

編集後記

今回の「文化協会だより」は、ふるさとまつりや立科町との文化交流をはじめとする各団体の展示や発表会、各種教室などを中心に掲載し、7月に横浜能楽堂で実施した「能」の鑑賞会も紹介しました。文化協会では、日々の活動を紹介することで文化活動に興味をもってもらうことを願っております。趣味は日々の生活に潤いを与え、生きる活力になります。皆さんも是非文化協会の活動に参加してみませんか。

職名	氏名
委員長	愛川水石奇木会 山田 昌弘
副委員長	みなかみ短歌会 富田 茂子
委員	愛川町吟詠連盟 井上 幾雄
委員	愛川町民謡協会 原 啓祐
委員	愛川さつき会 岡本 福寿
委員	愛川町将棋愛好会 大塚 三郎
題字	愛川町書道同好会 渡辺 勝弘

愛川町文化協会加盟団体の紹介

愛川町写真クラブ



展示替え作業を終えて 県立愛川ふれあいの村
私たち愛川町写真クラブは、3つの活動を大切にしています。

その一つは撮影の機会と場の提供。町内のほか、マイクロバスを使い各地へ撮影に出かけます。

二つ目は写真表現の学習会。専門家を招き、会員が持ち寄った写真の指導を受けます。これは、写真を見る目を養うとともに向上心を刺激し、次への作画意欲を沸き立たせます。

三つ目は写真展。毎年恒例の写真展の他、ふるさとまつりや中津公民館まつりにも必ず出品しています。また、県立愛川ふれあいの村には年間を通して展示。大きくプリントし額装して展示すると、撮影時の心の高ぶりがよみがえってきますし、仲間の写真を見るのも学習。友と交わす写真談義も楽しい。私たちは、こんなふうに互いに良い影響を与え合い、楽しく写真に取り組んでいます。

愛川茶道協会



ふるさとまつり 文化会館ホワイエ

茶道協会は、表千家・裏千家・康軒流・宗偏流を中心に活動しております。町の行事としては春のつつじまつり、秋のふるさとまつり、そして今年は夏に和菓子作り体験として、愛川町へお越しになった観光客の方に茶道の簡単なレクチャーとともに茶の湯体験をしていただきました。



最近はお抹茶を使ったスイーツやカフェにも抹茶メニューがあるなど、お子様や若い方にもとても人気です。又、外国の方も抹茶のお菓子を母国へのお土産に購入される方がとても多いと聞いています。

私たちも個々の活動、町の行事を通して色々な方に茶道を知っていただきたいと思ひます。茶会を催している際には、お気軽に声を掛けてください。

一服召し上がりますと、心がとても落ち着きますよ。

立科町文化展 平成29年11月3日～5日

愛川水石奇木会

立科町文化展の搬入は2日(木)、朝の7時に作品を車に積み込み雲一つ無い快晴の下、町役場を出発する。圏央道から上信越自動車道、下仁田を過ぎると妙義山を中心に巨大な絶壁・奇岩、怪石の山が連なり、カエデやブナの色鮮やかな紅葉が見事に調和、私たちの目と心が奪われた。

立科町中央公民館では、皆さまの笑顔の出迎えがあり、展示会場は2階ホール、愛川町文化協会「あいちゃん」ののぼり旗が両脇を固めて、水石・奇木の存在感と趣ある展示コーナーが完成する。立科町教育長が訪れ一品一品丁寧に鑑賞していただき、その後館長も加わっての記念写真をパチリ。

立科町文化展は小中学生の作品をはじめ、老人会・婦人会・グループ活動・知的障がい者施設・老人ホーム等の皆さんの多岐にわたる作品の数々が、会館内に所狭しと並べられた町ぐるみの文化展に感銘を受ける。

帰路は3連休最終日で、中央高速道は小仏トンネルから大月まで延々30キロにわたる大渋滞と道路情報を聞きながら立科町を後にした。



立科町教育長と公民館長と一緒に
立科町中央公民館

ふるさとまつり文化芸能発表会・文化展

開催日：平成29年10月21日(土)・22(日) 場所：愛川町文化会館



愛川ばら会
ふるさとまつり 秋のばら展



愛川町囲碁連盟
30名の参加を得て盛大に開催されました。



神奈川ふだん記
昭和52年より年2回発行の雑誌『やまゆり』。ふだん記の真髓を墨書して展示。記録に残す。記録は力。



愛川さつき会
秋のさつきは、本来の姿。樹木、枝葉、そして鉢が見どころです。



マジック愛川クラブ 文化芸能発表会で、マジック劇「ケンちゃんと遊ぼう」を演じました。沢山の拍手をいただき楽しく演じることができました。



よさこいダンスチーム Funny
ふるさとまつり 浮世絵巻